

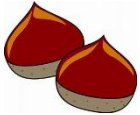
長万部町立長万部中学校

長中だより

明るく、仲良く、元気よ
第7号

令和4年10月31日(月)

学校教育目標：個の能力を伸ばし、自立して社会の形成者となるための資質を養う教育の推進



「これからの時代の子育て ～人間らしく生きる力とは?～」

校長 雨澤 啓司

朝夕の寒さが厳しくなり、一気に季節が冬に向かってる感がある時期を迎えました。新型コロナウイルス感染症の感染者数も減少傾向にあります。学校では日々の感染防止対策を万全にし、今後も「命を守る教育活動」を継続して参ります。

10月23日(日)、令和4年度渡島PTA連合会研究大会森大会が昨年に引き続き、「オンライン開催」により行われました。本校からは、休日にもかかわらず、篠田会長、三原副会長にご参加いただきました。ありがとうございました。篠田会長には、大会長として開会式でもご挨拶を賜り、重ねてお礼申し上げます。

さて、今回の大会は、講演を2種類準備され、本町PTA連合会は、「講演2」を視聴する形で大会に参加しました。講演2では、臨床育児・保育研究会代表で東京大学名誉教授である汐見稔幸氏が、「2030年代以降に社会に出る世代の子育てを考える～VUCAとAIの時代を人間らしく生きる力とは?～」と題してお話しを聞くことができました。そのお話しの中で、次のような内容がありましたので、少し紹介します。

* * * * *

「これからの子育て」では「点数・偏差値主義の子育て」は後退し、サクセスストーリーの内容が変化していく時代になる、とのこと。非認知的能力が重要視され、急激に変化する時代や社会に「柔軟に対応」できる力を育てなければならないそうです。また、仕事力・人間力に現在とは異なるスキルが要求されるそうです。そのキーワードは、①やり抜く力、②組織力、リーダー力、コミュニケーションなどのソフトスキル、③感情をコントロールする力等が必要とされるそうです。「点数・偏差値主義」を生きてきた私たちにとって、全く予想できない力が要求されることになりそうです。その時、「失敗」をネガティブに捉えず、「うまくいかないことを学んだだけ」とポジティブに捉え、「柔軟さ・臨機応変」を支えに、試行錯誤していく力が要求される時代になると言われます。「不易と流行」という言葉がありますが、今後はこの「不易と流行のバランス」が大切になると予想されます。「情報」が大量かつ容易に手に入る現在や未来には「結果を出す」ことを目指す教育ではなく、一人ひとりの生徒が、自分のやりたいことを持ち、そこに向かって試行錯誤していく姿を見守る大人でなければならないようです。生徒の「自分探し」の応援が教育の主要テーマになっていくことを鑑み、共感・応援・見守り・寄り添い等を基本に家庭や学校の関わり方を模索していかなければならないと思います。

私が、上記の内容から、これからの家庭・学校で子どもたちに育むべき力は、「臨機応変に対応する力」だと思います。計画を立て、計画通りできることは、とても素晴らしいことですが、「計画」通りいかない時に、「どのようにアイデアを出し、乗り越えるか」を柔軟に考えられる力を、是非子どもたちに身に付けてもらいたいものです。

「マニュアル通り」はAIが担う時代になります。マニュアルに沿わないイレギュラーを如何に解決するかが「人間の役割」になる日もそう遠くはないようです。

後期スタート

10月は、立会演説会をはじめ特色ある活動に溢れていました。



立会演説会



1日防災訓練



3年生ウポポイ見学



2年生宿泊研修発表会



性に関する指導



3年生ふるさと学習

スキルアップ・プロジェクト

10月18日(火)に第8回スキルアップ・プロジェクトを実施しました。この取組は、学力向上と学習習慣の定着を目的としています。これまで毎回50名ほどが、教科ごとに指定された教室に集まり、自習または講義などの形で自主学習に取り組んできました。次回は11月1日(火)の開催となります。たくさんの参加を待っています。



11月の予定

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 2日(水) 職員会議 | 16日(水) 授業公開研 |
| 4日(金) 進路説明会 | 17日(木) 町研サークル |
| 7日(月) 委員会 | 18日(金) SC来校 |
| 8日(火) 町研研究大会 | 19日(金) 卓球新人戦(～20日) |
| 9日(水) 校内研修 | 21日(月) 会議日 |
| 10日(木) Cテスト | 22日(火) 開校記念日 |
| 11日(金) SC来校 | 25日(金) 保護者面談(～12月2日) |
| 14日(月) 小中高合同発表会 | SC来校 |
| 15日(火) 認知症サポーター養成講座 | |

